社会福祉法人　であいの里　さやま保育園

2020 年 8 月1日発行

＊＊保育目標　　反省　すみません＊＊

・「ごめんなさい」「ありがとう」が、素直にいえる。

・夏の遊びを積極的に取り組み、楽しさを発見する。

今月の行事予定

１７・３１日　礼拝　　４日　交通指導

発育測定（１７日/以上・１８日/未満）

１３～１５日 特別保育　２０日 クッキー作り

２１日 誕生会　　２７日 集金日

２８日 奉仕作業②・避難訓練

３１日　水遊び終了

【法話】　　お　盆

今年は、梅雨明けが遅く、新型コロナのため、マスク着用に伴い、熱中症の危険が高い夏になります。水分・塩分補給、温度管理の熱中症対策で、夏を乗り越えて頂きたく思います。

日本の夏には、昔から全国的に「お盆」があります。各地で色々な風習・伝統行事がありますが、本来の「お盆」は、インドの「ウランバーナ」という言葉が、漢字の「盂蘭盆」（うらぼんえ）にあてはめられ、短く略されたもので、意訳すると「解倒懸」（げとうけん）という意味です。「倒懸」とは、さかさまにつるされることで、大変苦しい状態です。その苦しみから解かれ救われるのが、「解倒懸」です。お釈迦さまの十大弟子のお一人である目蓮尊者（もくれんそんじゃ）、そのお母さんが、仏法によって、餓鬼道の苦しみから救われたという話に基づいています。「倒懸」の状態にあるのは、この私です。さかさまをさかさまと知らず、苦しみを苦しみと知らない私に、迷いを迷いと教え示してくれるのが、お盆の行事です。

「お盆に先祖の霊が帰ってくる」というような俗信迷信に振り回されず、お盆には、先祖も私も共に、「倒懸（さかさま）」の苦しみ迷いから救われていく、仏教・お念仏の教えを、感謝の気持ちのなかで、聞かせていただきましょう。　　合　掌

◆梅雨もあけ、暑い夏がやってきます。水分補給はしっかりとしましょう。また、毎日の手洗い消毒の成果でしょうか、感染症が少ないように感じます。これからも継続していきましょう。

◆特別保育中も絵本の貸し出しをしております。是非、家庭でもたくさんの絵本に出会っていただきたいです。

◆担任変更について

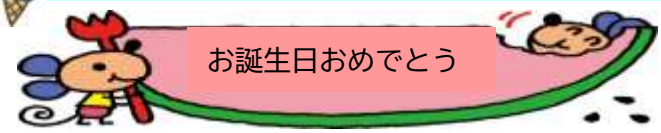
８月より、うさぎ組岡村保育士、ひよこ組薦田保育士が担当になります。年度の途中ですが、よろしくお願いいたします。

【ありがとう❤“遊びを届け隊”の皆さん　】

７月１４日、徳地青少年自然の家教育事業【新型コロナウイルス感染対応事業】として、３つの活動を届けてくださいました。①体を動かす活動（３６の基本の動きを取り入れたサーキットコース）②遊びリンピック（ストレッチ・風船を使って競争性のある遊び）③缶バッチ作り、積み木遊びなど、ほし・いちご・もも組が、３つの遊びを体験しました。

中でも、缶バッチ作りは人気で、自然の家のキャラクター、たぬきの「ポン太くん」に色鉛筆で、色付けし、オリジナルの缶バッチが出来ると、友だち同士で見せ合っていました。その後、丸くスライスしたヒノキの積み木が珍しかったのか、「パンみたい」と、本当にパンのような積み木で、高く積み上げていました。保育園の積み木とまた違って、木の温もりが伝わってきました。

ホールでのサーキット、曲線を歩いたり、高さのある道を落ちないように歩いたり、這ったり、トンネルをくぐったりと、落ちないように一生懸命バランスをとっていました。久しぶりに外部の方と遊びを楽しめて、とても新鮮でした。子ども達も笑ったり、いつも使わない体の部分を使えて、遊び隊の方に感謝です。最後に、「これからも、しっかりと体を動かしてください」と話して帰られました。



ほ　し組	えみりちゃん	６さい
	ゆいちゃん	６さい
	ゆうくん	６さい
いちご組	さわちゃん	５さい
	ゆうなちゃん	５さい
	かなでちゃん	５さい
も　も組	ゆうきくん	４さい
うさぎ組	みずはちゃん	３さい
	ともひろくん	３さい
ひよこ組	まいちゃん	１さい
	めいちゃん	１さい
	りなちゃん	１さい